

須磨海浜水族園/ JR西日本

列車事故を防ぐ、淡水カメ救出装置 【経過報告】

今年、初めて列車線路からカメを救出、同時に遅延も防ぐ

須磨海浜水族園と西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR西日本）は協力して淡水ガメによる列車輸送障害を防ぐ装置を開発し、昨年話題になりました。現在もその運用は継続しており、今年も第一号のカメがその装置で助けられました。おそらくそれによって列車の遅延が防げたものと考えられます。

そろそろ巷では淡水ガメの産卵期になり、カメが陸をウロウロする時期になってまいりました。今回、助けられたのは、クサガメです。甲羅の大きさ（背甲長）は 15.2 センチと立派な雄でした。川や池で生息するカメたちは春になると冬眠から覚めて動き出します。今回、救出されたクサガメも恐らく餌や交尾相手の雌を探し求めて歩き回っているところで列車線路内に迷い込んでしまい、設置された救出装置に落下したものと思われます。淡水ガメが活発に活動するのは7月上旬まで続きます。今後も本装置が活躍し、カメの救出と列車の安全運行に役立てられればと思います。

現在、このクサガメは、須磨海浜水族園内にある淡水ガメ保護収容施設の亀樂園に運ばれ、何もなかったように元気に過ごしています。

1. 救出場所：奈良県御所市柏原
2. 救出日：平成 28 年 5 月 13 日（金曜）
3. 救出されたカメ種：クサガメ 雄
4. サイズ：背甲長 15.2 センチ
体重 417 グラム

※今後救出されたカメは、当園で種を確認した後、JR 西日本職員によって安全な川や池に戻される予定です。（外来種を除く）

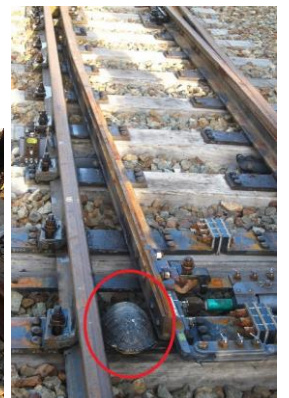
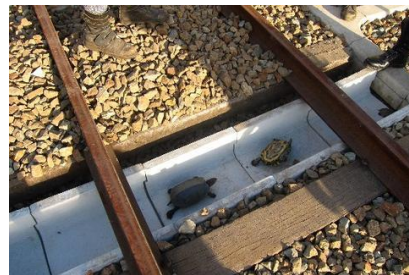
昨年までの経緯

（平成 27 年 11 月 24 日資料提供）

JR 西日本では毎年夏になるとポイント（分岐器）にカメが挟まり、列車に遅れが生じることが問題になっていました。JR 西日本より相談を受けた須磨海浜水族園では、ポイントにカメが挟まらないようポイントにたどり着く前に、U 字溝を埋めて、カメをそこに落下させ安全に確保する装置を昨年発案しました。この画期的な装置により昨年には 10 匹のカメが助けられ、同時に列車事故も防ぐことができました。



今年、初めて救出されたカメ
（クサガメのオス）



カメが挟まり列車事になるポイント（分岐器）と救出装置